

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 4 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30 31 32 34	心身機能の低下がみられ、事故につながり危険性が多くなっている。一人ひとりの変化や異常を見逃さず早めに対応していく必要がある。	利用者一人ひとりが健康で安全に過ごせるように気配り・目配り・心配りを行い、早期の対応が出来る。	・バイタルチェック、一般状態の観察をする。 ・体調不良時や特変時の経過観察・記録・個々の利用者に合わせて危険予測を行い、行動を見守る。 ・環境整備を行なう	12ヶ月
2	26 27	申し送りやケース記録が不十分なため、利用者個々の状態が正確に把握できておらず、新しい処遇等が伝わってこないことがある。質の高いケアを提供出来るように職員の意識を向上させる必要がある。	文面・口頭での報告・連絡・相談を確実にし、職員間での情報共有を図る。	・申し送り・ケース記録を正確に行う。 ・申し送りノートを活用する。 ・ケアプランに基づいたケアを行い記録する。 ・曖昧なことや疑問は確認・相談する。	12ヶ月
3	48	アクティビティ・レクリエーション等の提供できる種類が少ない。	利用者一人ひとりの興味あることや得意なことを提供し、楽しんで取り組んで頂ける用意する。	・利用者一人ひとりの役割や興味のあることなどを把握する。 ・意思の確認をしながら無理の無いようにする。	3ヶ月
4	49	外出の機会が少ない。	利用者の希望に沿った外出が出来る。	・行事参加 ・移動販売の利用 ・戸外への散歩 ・利用者の精神面や意向を尊重して混乱しないよう配慮する	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。